

## 2 意見交換の概要

## 2 意見交換の概要

### (1)各層別の意見交換

#### ①主な質問

##### ○学校施設

- ・各小中学校区で施設を設置できるのか。
- ・1～9年生と一緒に学ぶ学校施設のイメージ。体育館、プール、校庭はどうなるのか。あそべえと部活で校庭を使い分けられないのではないか。
- ・第2校地への移動・負担はどうなるのか。
- ・学区が広がるのか。避難所はどうなるのか。

##### ○実施スケジュール

- ・最初はどこの学校か、自分の小中学校区はいつか。
- ・市全体で一斉スタートか、一部か。

##### ○判断材料

- ・判断するのが難しい。
- ・判断するための情報が足りない。
- ・他自治体（三鷹市、品川区など）の情報。デメリットは何か。

##### ○具体的内容

- ・中高一貫校との関係。前倒しはあるのか。
- ・学校行事、制服、給食はどうなるのか。
- ・教員が増える一方で管理職はどうなるのか。教員の異動スパン。教員の負担。

#### ②市民

##### ○未就学児保護者

###### [議論の進め方]

- ・意見交換会に参加できる機会が増えるとよい。
- ・もし進めるのなら、これから検討していく段階で、品川や三鷹で起きていることも考察しながら検討してほしい。
- ・建替えや運営に関して想定するケース、定量的なデータ等を示してもらえたほうが、検討がしやすく、意見や提案も出しやすくなる。
- ・小中一貫の変化の時期に実際経験した子ども・教員等の声を聞いてみたい。
- ・検討検討ばかりでは先に進まない。いつ何をするかを決めて、そこに向けて動かないと永遠に議論するだけになってしまう。

###### [願い、期待]

- ・その教科が好きな先生に教えてもらえると分かりやすい。面白く教えてくれる先生は中学校に入ってから増えたイメージがある。

- ・地域の高齢者やボランティアの力も借りれば、小中高大、大はわからないが、人生一貫みたいな教育ができる。
- ・先生が更に忙しくならないよう、地域の力をもっと頼りにしてほしい。
- ・先生の多忙感が気になっており、地域担当職員の配置は良いと思った。
- ・マンモス校で10クラスあるようなところで育ったので、中学校で2クラス、3クラスだと少なく感じる。今後は学区をもう少し大きくすることも検討してほしい。
- ・小学校英語に関して、英語が好きで楽しんで教えてくれるのと、「苦手だな」と思いながら教えてくれるのは違う。
- ・いざ小中一貫が実施されたときに我が子がないのが残念だ。もっと早く実現できていれば自分の子ども達に関われたのにといい気持ちになり、これからの決定が楽しみになった。
- ・施設の複合化をするなら保育園を入れていただきたい。待機児童ゼロを優先してほしい。保育園が合築されるなら…と揺れ動いてしまう。
- ・大局的に見た時に、コミュニティの中で低い所にいる人たちを置き去りにしてはいけない。その人たちを見たうえで、全体的に考えるべき。
- ・地域の中での親同士の結びつきを考えた時に、子どもがハブになる。小・中学校が軸となっているのはすごくありがたい。
- ・子どもや教職員が幸福であることを一番に考えていただきたい。そうすれば親も幸福になれる。

#### [施設一体型小中一貫校について]

- ・同じ仲間と深めていけるというメリットと、人間関係が変わらないことで新しい友達ができない所や広がりを持たない所がデメリットかもしれない。
- ・一貫にこだわってしまうと、人間の情緒面での成長において、良い面もあるが悪い面も出てくる。
- ・小学生だけの空間なら問題ないが、下に降りてくる情報が早くなるので性の問題だけではなく非行の問題も無視できない問題だ。
- ・小学校から中学校に上がる時、子どもの気持ちを切り替えるための工夫が必要。
- ・小中一貫で同じ校舎でずっとやっていくことが、子ども達にとって良いのかどうか分からない。品川では子どもの気持ちを切り替えるために、どのような工夫をしているか教えてほしい。
- ・学区の関係で、自分の小学校からは半分で、向こうの小学校からは全員上がってきた。向こうの小学校で友達だった子たちで固まってしまったが、小中一貫になったら、そういうのもなくなるのかなと期待している。
- ・今の状態でも小中一貫にした状態でも、問題点や良い点はそれぞれあるが、先生がずっと追いかけて見てくれるというのは、いい先生に巡り合った時には、子どもにはす

ごく支えになる。

- ・小中一貫の校舎とそうではない校舎が出てくるので、差があまり開かないようにしてほしい。
- ・自分の職場に義務教育学校の子どもが職場見学や職場体験に来る。以前は学年別に来ていたのが、今は複数学年で来る。上級生が下級生の世話をしている姿を見て、よく回っている、うまくいっていると思っている。
- ・高校進学時に受験をすることを考えると、施設一体型小中一貫校で中学生が優しくなりすぎて難関校に合格しなくなったりすることも…
- ・物理的に近い事の良さは確かにあるが、施設が離れていても、ICT ツールを使うことでコミュニケーションは十分取れると思う。
- ・私立と違い、教員は異動で変わっていく。小中一貫校を経験していない先生が異動して来たり、うまく回していた先生が異動でいなくなることもある。地域限定採用みたいなものがあればいいのかもしれない。
- ・小中一貫校と別の学校のどちらに通うかを、学区に縛られずに選択できるのも一つの選択肢だと思う。成功かどうかも分からないところに子どもを入れるリスクがある。
- ・教育に関する様々な問題に対する解決策として小中一貫教育は唯一のものではない。複数の案を出したうえで、なおかつ小中一貫教育が良い、という明確な理由がほしい。
- ・12の学区にこだわらず、適正な人数を確保できるよう統合も検討した方がいいと思う。

## ○小・中学校保護者

### [議論の進め方]

- ・できるかどうか分からないのでイメージが湧かない。
- ・いろいろな意見交換会の時にも質問したが、やはりどうしても不安が解消されないというか、むしろ、その不安を解消していただけるなら、武蔵野市ならではのお金をかけたポジティブな小中一貫校を作ったらいいじゃないと思うんですけど。
- ・自分の地区がいつごろ対象になると考えられているのかが知りたい。それによって自分の子どもがどのような学校に通うかが変わる可能性がある。

### [願い、期待]

- ・例えば、困った時にどうすれば良いのかという解決策を考えられるような子になってほしい。
- ・食育はすごく大事で、A Iとか先端技術的なものは大事だと思うが、子どもの小学校・中学校、小さいうちに人として基本的なところはしっかり押さえておかなければならない。
- ・僕らの頃は空き地があって、そこで野球をやっていた時代でしたが、そういうのが学校の第2校庭の利用も含めて、のびのび過ごしてほしい。
- ・武蔵野市全体で環境を良くすれば、先生方も手を挙げてくれるし、居ついてくれる。

学校自体ではなく、市全体でもっといい学校を作っていく、そういうカラーを打ち出してほしい。

- ・公立の学校にはいろんな方がいる。いろんな考え方をもった親御さん、生徒さんもいる。その中で人間形成をちゃんとさせたい、いろんな価値観があることを子どもに学ばせたいと思って、市立への転入を考えている。公立の良さはそういう所だと思う。
- ・中高一貫の三鷹とか武蔵を受ける子が多いらしいが、そっちに流れてしまうのはもったいない気がする。
- ・土曜日の授業とかゆとり教育とかの例もあるので、後悔しないような選択を。できる限りのことは考えて。
- ・学童とあそべえはできる限り本体となる敷地内に設置してほしい。

#### [現在、未来の課題]

- ・おそらく何十年後かには、今の部活ではなくて、いろいろなことを考えないと成り立たないだろうということは、小中一貫だろうがそうじゃなかろうが考えなくてはいけない。
- ・部活は、愛校心や部活で頑張ったことを普段の勉強で生かすとか、いろいろな面でやってきたが、今の問題は、そういうところで先生が無理をしているかもしれないことだ。
- ・学校によっては子どもの数が多くなりすぎて学校行事に保護者が参加できない場合がある。

#### [施設一体型小中一貫校について]

- ・子どもの年齢の幅がある分、保護者の年齢の幅も広がる。どうやってPTA活動を成立させていくか、考えるのが大変だ。
- ・PTA活動9年間…それはつらい。軽くはならない。全然顔が知れない人達と互選会をしなくてはいけない。それでは決まらない。
- ・教育面で考えると一人一人の先生が勉強する負担が増えるのではないか。
- ・同じ学校であれば、中学校の先生にとって小学生の時の様子を把握しやすい。
- ・小学校で1クラスの場合は、中学校でも続くことになり、気の変えようがない。
- ・学習方法とか地域のなんとかというよりも、子どもたちの体験による心の成長みたいな部分が、ちょっと削がれるんじゃないかという不安がある。
- ・小学校から中学校へはグレードアップだ。もう俺は小学生じゃないんだ。それは一つの方だ。絶対必要なことだと思う。つらい子だけではなく普通の子にとっても同じだと思う。
- ・だらだらと9年間というわけではなくて、ある程度の区切りの仕方、一応子どもを卒業じゃないが、ティーンエイジャーになるぞみたいな、区切りの仕方をどう作ってあげるかというのは大事だ。
- ・異年齢交流ということで中学生にボランティアをやってもらってはどうか。小さい子

## 2 意見交換の概要 (1)各層別の意見交換

の世話をするとか。

- ・広さの問題が一番ある。5階建て、6階建てとかなになるのか。校庭が狭くなったりするのは地域が受け入れられないだろう。
- ・一緒になるメリットというよりは、今までのがどうしても変わらないといけないのかというはある。
- ・敷地が広くない中で実現できるか全く読み解けない部分がある。そこを皆さんに納得できるような説明があれば、この内容の良さを理解できると思う。
- ・子どもは順応するのが早い。10年、20年後になってしまえば、このシステムが当たり前になってくるような。今の段階は、今までのことを変えていくことが心配な段階だ。
- ・9年間でもいいかなと思うが、ただハコや土地の問題とか、学区ごとに格差とか、やり方が変わってしまうことの方が違和感を感じる。
- ・複合化するなら、安全面から仕切ってほしい。
- ・仮に小中一貫教育を実施し、武蔵野市の教育水準があがった場合に、市外からの転入により児童生徒数が人口推計を大きく上回ることもあるかもしれない。そうなった場合に教育水準は担保されるだろうか。

### ○関係団体（地域コーディネーター、武蔵野市青少年問題協議会、開かれた学校づくり協議会）

#### [議論の進め方]

- ・2025年から始まって20数年かける広大な話というか長期なのに、平成27年からの話し合いの内容があまり伝わってこず、この数カ月間に何回もこういう会が組まれて、出てください、今年度中に方針を出して、という話の流れが丁寧ではない。
- ・実際こういう悪いこともあるとちゃんと出してくれないと、みんな心配だ。ちらちら反対の声を背負わされて、ちょっとおかしいんじゃないと言われながらここに来る訳で。その辺はもう少し丁寧であるべきだ。
- ・現在の問題点と照らし合わせると、やりたくないよと思うかもしれないが、そうではなくて今の赤ちゃんや生まれていない子どもを育てるための土台作りということを意識しないと、今の問題で反対となってしまう。
- ・デメリットはデメリットでいっぱい出してもらって、そのデメリットをメリットに変えていく方法はないかという議論をしていく方が建設的だ。デメリットがあるからダメではなく、どうすればできるようになる、一つ一つデメリットをつぶしていく過程が必要だ。
- ・各エリア、地域で違う。今から考えるのは大賛成で、長いスパンと言った方が良い。みんなの中には誤解があって、再来年からと思われているけど、21世紀の話と言わないと。
- ・現段階では施設、制度、校区等イメージがつかないため判断がしづらい。実際に経験

した人の話も聞きながら考えていきたい。

- ・制度や施設の話だけでなく、子どもや保護者の情緒面も考慮して検討してほしい。

#### [願い、期待]

- ・やっている所の良い所、悪い所も分かっているはずなので、いい所はとるべきで、よそが失敗したのを学んで、武蔵野の子に生かすべきだ。
- ・今度小学校に英語が入ってくるが、担任の先生が教えるのではなく、小学校の段階から専門の先生を入れるとか、経費が節約できた部分をそういうところにお金をかけてほしい。
- ・保護者の対応は専門家に任せて、教委が教育公務員としての職務を全うできるようにしてほしい。

#### [現在、未来の課題]

- ・小中連携という取組みがなされているが、実際にしきれていないと思う。小・中学校の先生が膝を突き合わせて話をするという時間が少ないだろうなど思っている。
- ・小中連携なんて今の時点で全然できていない。交流はしているけど。
- ・武蔵野市は中心的な施策は効率的に上手に運用している。そこからこぼれる人たち、学校現場で言えば通学が苦痛に感じる子や貧困状況にある子たちにもちゃんと目を向けられる街であってほしい。
- ・小学校受験で市外に出てしまうと、なかなか市民として地元密着型に定着してもらえない。武蔵野市で生まれた、という思いを持つ子どもに育ててほしい。
- ・子どもの居場所について、中学生は非常に大事な時期なのでフォローする場を整えてほしい。
- ・先生同士の連携は個人のコミュニケーションスキルに頼っていたら難しいから、仕組みと時間と場所をつくらないといけないと思う。
- ・小学校高学年になると教科の専門性も高まるので、専科の先生に教えてもらった方がいいと思う。全教科を一人の先生が専門的に教えるのは難しいのではないかな。

#### [施設一体型小中一貫校について]

- ・地域としては、中学校になるとあまり関わりがなくなってくる。それが小中一緒になると、中学校まで地域が応援できる、見られるという面もあるけれど、子どもも一緒、地域も9年間一緒というのはつらいところもある。
- ・単に小さな学区のままの9年というのは、子どもたちの社会性においてデメリットだと思う。
- ・小学校高学年で委員会が始まり、長になりということで学ぶ面がある。施設一体型小中一貫だとそういうことがなくなるのではないかな心配だ。
- ・核家族化はずっと続くと思う。9年間という縦のつながりを設けるのは子ども達にとってすごくいいことと思う。上が下をみて、下も上を敬うというのは。
- ・基本的に9年間通して人間をつくっていききたいという風になっているのに、前期終わっ

## 2 意見交換の概要 (1)各層別の意見交換

たからよそに行きますというのは、選択としてはあるかもしれないが、それをどれだけ防げるかが大事だ。

- ・中学生は少なくなるが、逆に期待もある。そのまま上がっていくということも含めて。
- ・前期で終わって出ていくのは、ほとんど親の考え方だったりするが、これからは自分で考えてやっていく時代なので、親を頼らずやっていけるよう9年間を過ごせるようにしてあげられると良い。
- ・9年間の継続性というが、教員はその前に異動してしまうのではないか。校長が変われば校風はがらりと変わってしまうのではないか。小中一貫教育に適した教員の配置方法や年数を制度として整える必要がある。
- ・日本で最初の小中一貫校をつくろうとしているわけではないから、先行事例を参考にしながら、デメリットをメリットに変えていければよい。
- ・移行期間に学校によって教育の仕方に差が生じるのが気になる。
- ・校地によっては施設が収まりきらないのではないか。そのシミュレーションが必要だと思う。
- ・現在は中学校でしぼんでいる感のある特別支援教育が、小学校の規模のまま充実し続けられるのではないかという期待はある。
- ・いじめは異質なものの排除だと思う。中3にとって異質なものである小1が常に同じ場所にいることでそれを認め、許容する文化が生まれるのではないか。
- ・中学1年生くらいまでは吸収力がすごく高いので、それまでに一生懸命やるとのちにいい影響が出る。小中一貫にして専門的な指導が可能になれば効果的だと思う。
- ・第二校地ができるならばそこに特別支援学校を作ってほしい。現状武蔵野市には特別支援学校がないので市外に通っている。
- ・私は職員室が一つと言うのはすごくいいと思う。先生方が子どもの成長を見ていける。
- ・先生たちの事務的なことが本当に多い。それを担当する人がアメリカでは職員室に入っている。そういう人材を増やしてもらって、先生たちが子どもたちと過ごす時間を増やす方向に持って行っていただければ、小中一貫でいいと思う。

### [他自治体の取組み]

- ・小中一貫校を実際に見に行き感じたのは、子ども達がとても生き生きして楽しそうだった。先生のやる気度、校長先生たちの思いが熱かった。子ども達を長い目でみて成長させるという大人の熱い思いが伝わってきた。
- ・見学した小中一貫校では、やっていないことをやるのは大変で、どんな学校になるかイメージがつかなかったが、思ったよりも地域も協力してくれて、うまく回転しているということだった。子どもが変わって先生も変わったというのが印象的だった。

## ○地域（3 駅圏）

### [議論の進め方]

- ・来年の2月に検討委員会の結論を出すのは早すぎる。
- ・まだ分からないことが多い。
- ・今、この議論で決めてしまうのではなく、教育の中身と建物の問題を別にして、もっと深く、武蔵野の子どもにとってどういうことが大事なのか話し合い、多くの市民が知ることが大事だ。
- ・いろいろと不安の声があるが、実際やっているところはどうかということの説明できるとよい。

#### [願い、期待]

- ・一人の子どもが成長していくときに、それに寄り添うような大人や地域があることが一番大事だ。
- ・子ども一人一人が自分の力で立って歩いて社会に出ていく力を養うことができる、そういう環境を学校に期待している。
- ・先生になられた方に地域の大人が関わることで少しでも人と関わる力を育てほしい。
- ・「武蔵野版」を作してほしい。いろいろな壁はあるが、武蔵野が発信すれば変わるのではないか。

#### [現在、未来の課題]

- ・子どもに向き合う時間が少ないことが、今の先生、教育の課題・問題だ。

#### [施設一体型小中一貫校について]

- ・教員の経験の中で、職員室が一つになるというのは非常に大きいという実感があった。
- ・小学生の視野の中に常に中学生が入ってくる生活は、自分の未来像が見え、中学生にとっても、お手本にならなくてはいけないという意味で、一緒に生活することは利点がある。保護者にとっても、子どもの未来像が見えることで学ぶものがある。
- ・先生方の得意な分野を生かして連携ができるとよい。
- ・小学校6年と中学校1年の区切りには意義があり大事だ。

#### [地域]

- ・学校との、地域との関わりを、時間的な問題でなんとなくシャットアウトしようとする保護者が多い。

### ③教員

#### [主な意見]

##### <検討について>

- ・子どもたちをどうしたいのかを第一に考えるべきだ。
- ・具体的ではないためイメージしにくい。他自治体の事例を知りたい。
- ・小中一貫教育の目的、メリットが分かりにくい。
- ・小中一貫教育ありきにならないよう、様々な意見を取り入れられるように。

##### <期待等>

## 2 意見交換の概要 (1)各層別の意見交換

- ・色々な課題はあるが、新しい教育の形をつくることに期待する。
- ・一貫にすることで教員も働きやすくなると分かれば、前向きに考えられる。

<不安等>

- ・建物が高くなる。校庭、体育館での児童・生徒の安全確保。
- ・小学校6年生のリーダー性は大切だ。小学校の文化をなくさないでほしい。
- ・中学校で心機一転することが難しくなる。
- ・中学校の人数が相対的に減少する。
- ・教員の負担が増えるのではないか。

## 2 意見交換の概要

### (2)高校生・大学生の意見交換

#### ①発表「小・中学校時代を振り返って」

##### 1 班

- ・好きなことを全力でやっていた。
- ・九九や外で遊ぶことなど。

##### 2 班

- ・知⇒小学校で海外留学・中学校で習熟度別授業を行っていた。
- ・徳⇒生徒の主体性を重んじて部活や委員会の立ち上げを行えた。
- ・体⇒ハンドボール投げの記録が伸びなかったことを受けて、外部からコーチ招いて集中講義を行った。

##### 3 班

- ・外で遊ぶこと⇒友達・人間関係を作る
- ・セカンドスクール、プレセカンドスクール・修学旅行など、たくさん出かけたり自然に触れる機会が多かった。

##### 4 班

- ・小学校時代⇒児童会長を経験し、人前で話すことが得意になった。
- ・授業について⇒英語や音楽など、出身の学校ごとに特性があった。先生の存在が大事。先生が面白くて授業が好きになった。
- ・中学校時代⇒部活動が始まり上下関係ができた。進路について考えなくてはならない。
- ・行事⇒山登り、落ち葉掃きなど地域の特性にあった行事があった。

##### 5 班

- ・合唱大会などの行事を通じた地域との交流  
⇒学校で企画したものを地域にも見てもらう。
- ・計るのではなく、高める  
⇒IQを計るだけではなく、高める取り組みを行った。
- ・学校対抗  
⇒地域の小学校の同学年での運動会で玉入れなどの対抗戦を行った。

## ②発表「これからの学校・教育に望む事」

### 1 班

- ・今後親になっていく視点から考えた。
- ・学力  
⇒高校受験という明確な目標に向けて習熟度別の授業を行える。
- ・自分たちが身に付けたかった＝将来子どもに身に付けさせたいスキル  
⇒①英語、②プレゼンテーション、③文章を書く、④PCのスキルを身に付けたかった。  
グローバル化が進む中で社会に出るために重要になると思う。
- ・精神面  
⇒年齢が上の人、下の人がいる中で態度が曖昧になるのでは？中学校で部活動が始まって上下関係を知れるだろうが、小中一貫校だとどこで知ればいいのか。  
新しい環境に移れないことでいじめが長期化するのでは？
- ・心配点  
⇒中学校進学での変わるきっかけがなくなってしまうことがいちばんの問題点。解決に向けて検討が必要だと思う。

### 2 班

- ・三鷹市での小中一貫教育を経験した。小学生の時は中学生が遊びに来てかっこいいと思っていたが中学生になったら面倒だった。
- ・メリット  
⇒行事の規模が大きくなって楽しそう。  
近い将来のモデルとなる先輩が身近にいる。  
親からみると信頼感が生まれる。  
将来に結び付けやすい。  
安心感が生まれる。
- ・デメリット  
⇒外部に接触する勇気が養えない。  
うまくコミュニケーションを取れない子どもが増える。  
保健室が大混雑しそうで心配。  
図書室を利用する目的が小・中学生で違うのでトラブルが起きるのでは？  
中3の受験が心配。ちょっとしたことでもストレスを感じる時期なので低学年の存在  
がデメリットになるかもしれない。  
私学の中学校や中高一貫校に行きにくそう。  
異動により先生がいなくなると大変。  
制服どうなるのか？

校地は足りるのか？小・中学校がまとまると場所が足りなくなるのでは？

- ・結論⇒コミュニティが狭いのがメリットでもあり、デメリットでもある。

### 3班

- ・話し合い開始直後はマイナス面の意見が多く出た。裏返せばプラス面につながる。
- ・勉強について  
⇒連続性はあるが、9年は長くないか？中学デビューができない。小学校の卒業式を経験したい。
- ・行事について  
⇒学校内で小学校1年生と中学校3年生の体の大きさが違うから危険ではないか？  
上級生が下級生の見守りができ、行事も盛り上がるか。
- ・人間関係について  
⇒固定されるので新しく仲間に入ってこれない人がいるかもしれない。  
小学校卒業後に築かれる人間関係がなくなる？  
小学校6年生の最高学年としての意識がなくなるのではないか？  
9年の一貫校を卒業して高校に行くと友達の作り方が分からない？  
懸念は多くある一方で、友達と長く付き合えるのはいい。  
地元で悪いことしたらすぐに広がるから、悪いことが出来ない。

### 4班

- ・小中一貫校の心配  
⇒教師側から見た新しい発見がなくなる。新しい個性を引き出すことが難しくなる。  
小・中学校の目的や価値観の違いがある。それが変わってくるのではないか。  
中学生への憧れや心機一転の機会がなくなる。私服・制服の問題  
人間関係、転入生は既に構築された中に入るの難しいのではないか。
- ・小中一貫校でできること  
⇒特別支援、同じ先生が見ることで安心感がうまれる。  
行事が盛り上がる。上級生が下級生を見守れる。  
目標とするモデルが近くにいるので見やすくなる。  
第二校地でできることが増える。スケートリンクを作る?!新しい可能性が広がると  
思う。
- ・大切にしてほしい事  
⇒小・中学校が一緒になっても先生との関係性は大切にしてほしい。それぞれの「らし  
さ」を大切にしてほしい。  
小学校の授業の小学校らしさ。児童主体。  
掲示物について、小学校は個性を重視しており、教室内にも多くある。

5 班

- ・小中一貫校の良い面  
⇒学力は保障されると思う。小学校からわからないことが職員室で共有される。
- ・望む事  
⇒高齢者との交流を増やす：核家族化が進んでいるから。  
高校生・大学生との交流：近い世代との交流で将来を可視化。総合学習につながる。  
第二校地も活用できる。
- ・小中一貫校の懸念  
⇒環境の変化が少ない。中学校進学時に意識が変わるが、一貫だとそれが難しいかもしれない。
- ・内面について  
⇒仲のいい人とは別れたくない。一方、いじめで学校に行けない人は別の学校に行きたがる、学校にそもそも行きたくないということもある。サポートが必要になる。

## 2 意見交換の概要

### (3) 要望により開催した意見交換 —吉祥寺東コミュニティ協議会—

- ・発達障害を持つ子どもには厳しいものがあるのではないかと。やるとしたら第二校地に特別支援学校を作ることも考えてほしい。
- ・デメリットがもっとあるのではないかと、その穴埋めを慎重に考えなくてはいけないのではないかと。
- ・子どものためには教職員の数を、現状でも増やしてほしい。八王子市立みなみ野小中学校には市費用務さんがいなかった。
- ・今急ぐ必要があるのか、引き続き検討をして、子どものためにどういう教育が良いのかを考えていく必要があるのではないかと。
- ・高校の義務教育化に賛成、進めたい。
- ・小中一貫校は教員の質がレベルアップすることで初めて実施が考えられるのではないかと。モデル校の結果を検討して、12校に広めてはどうかかと。
- ・教育は人間形成が重要。教員の負担が大きくなるのも問題になる。
- ・現役保護者がどう考えているのか、意見交換会への参加者が少ないということが問題。
- ・一番大事なのは指導者。教員がどう考えているか、教育をどうしていけばいいかということを考えていくとよい。
- ・9年間メンバーが変わらないのは恐怖でしかない。チャレンジスクールのような形で第二校地に設置する形ではなく、不登校の子、いじめを受けている子、いろいろな子どもが自分のペースで自由に学習能力を伸ばせるような、通ってみんなが誇らしい、かっこいい、あそこに行くのいいな、みたいな学校があるといいのではないかと。
- ・NHKのEテレで「Teach for America（アメリカの教育NPO。教育困難地域にある学校に常勤講師を赴任させる取組）」がやっているフリースクールについて放送されていた。地域、学校の先生が教えている。そこで教えることを先生自身が誇らしいと思う取り組み。日本の団体もできている。年収が130万円150万円以下の貧困家庭では、小学校3年生くらいで高校進学をあきらめる。学費が出せないため。そういう面での公的な救いの手を差し伸べることも武蔵野市ではできるのではないかと。
- ・小中一貫校となると、教員免許を小・中学校両方持たなくてはいけない。中学校よりも小学校の教員免許のハードルが高い。ピアノ、水泳、ダンス、英語等。そこまでのスキルを身に付けられる教員をこの先確保できるのか。教員不足につながるのではないかと。
- ・学校としての学習内容について小・中学校よりも中学・高校一貫教育の方が教員として学習内容に連続性が出てくるので現実的な部分が出てくるのではないかと。
- ・小中一貫教育の前に、武蔵野市ではこれからどういう子どもを目指すかという像を市民に明確に発信すべき。茅野市の発信と比べると、もう少しはっきり打ち出してほしい。

- ・一貫化したら教員の多忙化は解消され、教育に専念できるようになるのかの確約がないと、親はなかなか動けない。
- ・子育てしている人の参加が少ないというが、自分の子どもに関係ないからということでもそまでのゆとりがない。時間ができたときに改めて教育について振り返れる。現状の親が関心を持たないのは気にしすぎる必要ない。
- ・一番大事なのは義務教育として基本的なレベルを維持すること。下支え。私立校に進学しがちということだが、公立校にも特色はあるので、公立校で伸ばせるところは伸ばそうという環境ができるならよいはず。今はそこまで先生にゆとりがない、図書館司書もゆとりがない。教職員の活かし方次第で魅力が変わる。そこで一貫を選べるかどうかの一つのポイントになるかと思う。
- ・小中一貫校を何校か見学した結果、メリットもデメリットもあるはずと思う。現状については教育委員会は分かっているだろうが、住民には必ずしも伝わっていない。特にデメリットについて、今後どう変えて、補っていくかという情報も含めて教えてもらわないと分かりにくい。
- ・今まで武蔵野市はなんとなく地域が学校に協力してきた。学校が大変な部分、欠けているところ、例えば林間学校に連れて行く代わりにジャンボリーなど、支えていきたい人が独自に展開してきた。地域が学校のつなぎ目として関わってきたことの評価が漠然としかなされていない。それが示されればコミュニティスクールとしての良さが明確に分かる。その結果、地域の公立校と一緒にやっていけばいいというのが親の方も分かる。現状はPTAや青少協などの役員決めなど困っているが、もっと発信しやすく、参加しやすくなるのではないか。これは小中一貫であるかないかは別にして、地域と学校の関係を考える一つの大きないい機会だと思う。
- ・部活の専科の先生の話について、一貫にすることで専門的なことが全体に及ぶならばメリットなのかな、と思う。

平成30年1月16日

第四小学校保護者の皆様  
本宿小学校保護者の皆様  
第三中学校保護者の皆様  
地域の皆様

吉祥寺東コミュニティ協議会  
代表 [REDACTED]

## 「小中一貫教育」意見交換会のご案内

前略 平素より吉祥寺東コミュニティ協議会活動にご理解・ご支援を賜りまして、厚くお礼申し上げます。

弊コミュニティ協議会は、一昨年28年8月11日に、多くの出席者を得て、小中一貫教育に関する意見交換会を行いました。

その後、武蔵野市教育委員会は、有識者を含めた小中一環教育検討委員会を継続開催し、意見交換・審議を継続して行ってきました。

その検討状況について、市内各所にて、市教育委員会主催の意見交換会を開催しております。

弊コミュニティ協議会と致しましても、前回意見交換会を開催した経緯もあり、他市の実例研究のため、昨年12月15日に「八王子市みなみ野小中学校」見学も行いました。

今般、再び市教育委員会の出席を得て、標記の通り、小中一貫教育に関する意見交換会を下記により、企画致しましたので、ご多忙中誠に恐縮でございますが、ご出席を賜りたく、ご案内申し上げます。

草々

### 記

1. 日 時 平成30年1月28日(日) 10:00~12:00(開場9:45)
2. 場 所 吉祥寺東コミュニティセンター(九浦の家)1階ホール 定員50名  
(武蔵野市吉祥寺東町1~12~6/五日市街道・女子大通りより入る)  
※駐車場はありませんので、宜しくご承知下さい。
3. 主 催 吉祥寺東コミュニティ協議会
4. 主な内容 (1)小中一貫教育の可能性について  
「小中一貫教育検討委員会の検討状況」の説明(市教育委員会)  
(2)参加者よりの質疑(市教育委員会が対応)  
(3)意見交換

### 5. 連絡先

吉祥寺東コミュニティセンター ☎ FAX 0422(21)4141

以上



## 2 意見交換の概要

### (3) 要望により開催した意見交換

#### —武蔵野の教育を語る会、武蔵野市の「小中一貫校」を考える会—

- ・ 教員が6年間で異動とすると、9年間の指導が一貫されない。
- ・ 小学校の高学年でいじめを受けて、一貫校でいう7～9年生でもいじめが続いてしまう可能性がある。
- ・ 中学校の規模が小さくなり、生徒会の選挙や、何か行事でいろんな係を振り当てられるとか、部活で上級生が下級生をコーチするとか、成り立つのか心配だ。
- ・ 中学生は昼休み時間に大きく暴れるが、小学生が一緒だとしたら、別にすべきだ。部活動も同じだ。
- ・ 不登校・いじめは、今、小学校高学年から増える。一貫校になることでむしろ悪化する、あるいは、小学校の生徒指導ができないので人数をいっぱいつけばどうなのかという議論もあるかもしれない。
- ・ 私立中学への入学が増えたら、ますます中学校が小さくなる。他自治体のように家庭科は全部非常勤で兼任する等、定数を確保できるのか不安だ。
- ・ 適切な中学校のクラスは4つだと思う。せいぜい3つだ。
- ・ 3年生でも1年生の勉強が分からない、6年生でも2年生が分からないという子がいたときに、武蔵野ではどのようにして、人をつけ解決していくのかということを考えたい。
- ・ 今小学校にいる子たちは関係なくなってしまう、50年60年のスパンで考えることであれば。どうなっていくのかイメージがつかない。
- ・ 一貫にしなければいけない理由が見えない。連携を進め、子どもたちの支援になるような専門家の方を少しでも増やすという方向でいいのではないか。
- ・ 建物をどう変えるか、狭い武蔵野でグラウンドについて具体的なイメージがつかめない。
- ・ 第二校地は、具体的に「これならいいかも」と思っていないという状況だ。
- ・ たくさんいる、兄弟の感覚でいけば癒しにはなるかもしれない。
- ・ 東京都は小中の教員免許の併有率が低い中で、対応例に通信教育の活用があるが、多忙化につながる。
- ・ 今が悪いから変えるということではなく、今こういう状態である、それをとらえて今後このように変わっていくかもしれない、だからこういうふうな学校の仕組みが必要だと話せば、もう少し分かりやすくなる。
- ・ 今から未来を見据えてレベルアップするということだが、今の教育のままでいいのか、小中連携では何ができるのか等、その検討プロセス抜けている。
- ・ もっと今の教育を良くするには、本当に現状で限界値なのか、検討していると思うが可視化できていない。だから、みなさんにとって飛躍した議論に聞こえるのではないか。

## 2 意見交換の概要 (3)要望により開催した意見交換

—武蔵野の教育を語る会、武蔵野市の「小中一貫校」を考える会—

- ・恐らく懸念や不審な部分を払拭する一つの方法は、今の子どもがこうである、ちょっと前から変わってきている、ということはこれからも変わるかもしれない、子どもがこう変わっていくだろうから、学校の仕組みがこう変わればマッチすると、説明すればわかり易い。
- ・10年20年先の子どもたちを巡る環境が今よりもっと悪化していったときに、学校というのは、××先生と普通に話せて、友達とも普通に話せるようなクラスであり、学校全体小さくなるのがいいのではないか。
- ・施設を一つにして、たくさんの人がいるのはあまりいいとは思わないが、各校が300人とか400人で小中学生が一緒にいるなら、別の可能性はあるかもしれない。
- ・今の子どもたちがこう変わってきて変わっていくというところに、学校はこういう役割がある、という説明をいただくと響く、分かったような感じになる。
- ・中学生と一緒にになると放課後の子どもたちはどうやって生活するのか、という疑問がある。一番教育に望む事は、子どもたちがみんなのびのびと生活できるような学校であってほしいし、先生ももっとゆとりもてるとよい。
- ・例えば京都等、小中一緒の建物だが別々というのは、住み分けができています。まだどうしたら一緒にできる、あるいは一緒になることが有効だというのが検証されていない。
- ・一緒に何かの行事をする回数が増えるということではなくて、中学生が小学生に教える機会や、単なる教科だけではなくて、生き方とか接し方についても交流しながら、授業を通してできるとか、学年の壁を越えてできるとかいうのが見えてくると、今とは違った意味が見えてくるのではないか。
- ・「駄目だ」とやたらと言おうと思っているわけではなく、一緒に考えたい。
- ・学校制度を考える時は、学校に入ってくる前の子どもたちがどういうふうに住んで何を身に付けているのかというのをとらえながら、その上の仕組みをつくるのも大事だ。
- ・京都に見学に行ったときに、地域によっては可能なところは幼小中というつながりを作ることを検討しているというのでも聞いたことがあり、そのことも大事だ。
- ・学校規模は500人くらいが限度だと思う。年少から小学生まで名前が覚えられるのが500人くらいだから。
- ・自分の子どものときは、中学校に上がらせる怖さもあり期待感もあった。何か新しいことができるんだというワクワク感がなくなるのは逆にマイナスなのかなという印象だ。
- ・議員の方からも率直な意見をいただいたり、職員とも話ができて聞いてもらえるというのは大事なことだと思うので、率直な意見を言ったつもりだし、お互い攻撃するのではなくて理解するための会にできたのかなと思う。

2 意見交換の概要 (3)要望により開催した意見交換

—武蔵野の教育を語る会、武蔵野市の「小中一貫校」を考える会—

## ～ 武蔵野市の「小中一貫校」を考えよう ～

### 「武蔵野市小中一貫教育検討委員会の検討状況に関する意見交換会」

武蔵野市は「小中一貫教育検討委員会」を設置し、平成 29 年度内の答申を予定しています。そのため、12 月～1 月に市民や教員の意見を把握しようと「意見交換会」を開催しています。

(その後 4 月～5 月に市民説明会やパブリックコメントを実施する予定です)

この「意見交換会」は、“地域団体等からの開催のご要望も受け付ける”としていたため、「武蔵野の教育を語る会」で申し入れたところ、以下の日程で開催するところとなりました。市の担当者を交え、積極的な意見交換をおこないましょう。

<武蔵野市の参加呼びかけ (教育委員会 WEB サイトより) >

7 月に第 1 回が開催された武蔵野市小中一貫教育検討委員会は、12 月 7 日に第 6 回が開催されました。これまで検討委員会で議論されてきた、武蔵野市が考えるこれからの教育の目標や、それに向けた取り組みなどについて、市民の皆様からご意見をいただく意見交換会を開催することとしました。お誘いあわせのうえ、是非ともご参加ください。

**日時** 1 月 15 日(月) 18 時 30 分～20 時 30 分

**場所** 武蔵野市役所 (西棟 8 階) 811 会議室

※事前申込み不要、参加費無料



主 催：武蔵野市教育委員会

呼びかけ団体：武蔵野の教育を語る会

武蔵野市の「小中一貫校」を考える会 ⇒



協 賛：むさしの子どもまつり実行委員会

⇒ホームページ <https://mu-kodomo.jimdo.com/>

<問合せ先> TEL

TEL

- 2 意見交換の概要 (3)要望により開催した意見交換  
—武蔵野の教育を語る会、武蔵野市の「小中一貫校」を考える会—

2018. 1. 15  
市役所811会議室  
18:30~20:30

**武蔵野市小中一貫教育検討委員会  
検討状況に関する意見交換会 次第**

1. 開会 (1分:司会)
2. 挨拶 (10分:教育委員会)
3. 意見交換会の進め方 (3分:司会)
4. 検討状況について説明 (35分:教育委員会)
5. 説明内容への質疑応答と意見交換 (質疑応答10分+意見交換50分)
6. アンケート (10分)
7. 閉会 (1分:司会)